

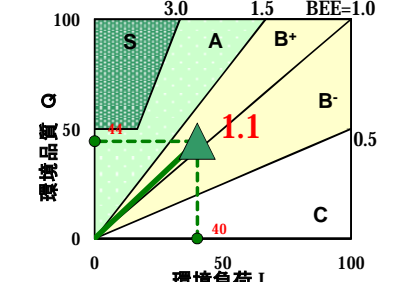
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市天神町1丁目計画	階数	地上10F
建設地	大阪府高槻市天神町一丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域、準	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年6月6日
敷地面積	1,234 m ²	作成者	(株)東急設計コンサルタント 尾田岳志
建築面積	542 m ²	確認日	2022年6月9日
延床面積	3,841 m ²	確認者	(株)東急設計コンサルタント 尾田岳志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

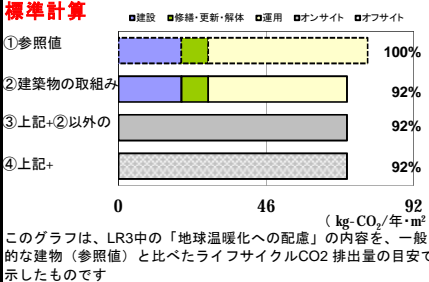
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

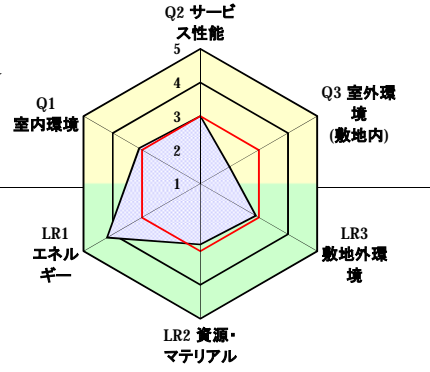
標準計算 ☆☆☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

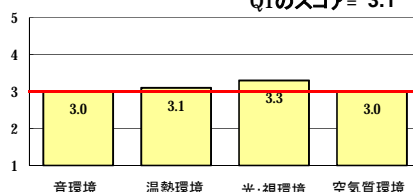


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

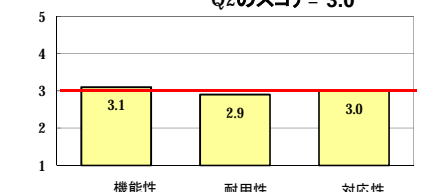
Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1



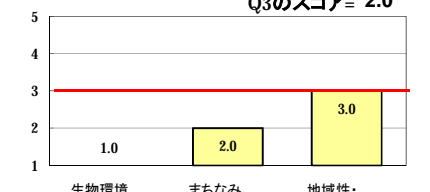
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0



Q3 室外環境(敷地内)

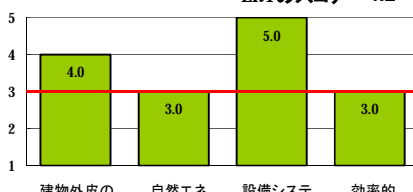
Q3のスコア = 2.0



LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

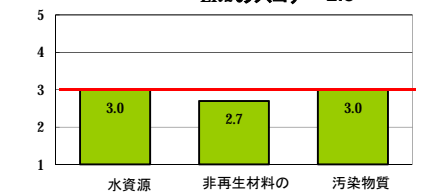
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2



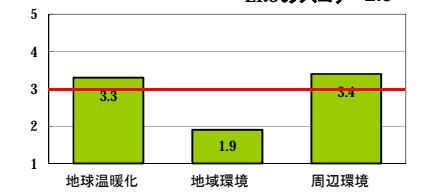
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9



3 設計上の配慮事項		
総合	断熱等性能等級4相当、住居の昼光率1.65%以上確保、劣化対策等級3相当などを中心に環境において配慮した設計としている。	その他 特になし
Q1 室内環境	・断熱性能等級4相当 ・昼光率 共用部2.2%以上、住居部1.5%以上 ・住居部 庇+カーテンで昼光制御を行っている	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	・[BEI][BEIm]=0.85以下	LR3 敷地外環境 ・LCCO ₂ 排出率が一般的な建物と同等 ・光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの配慮事項の過半以上を満足している。
Q2 サービス性能	・躯体の耐用年数劣化対策等級3相当 ・階高のゆとり住居2.9m以上3.0m未満	
LR2 資源・マテリアル	・部材の再利用可能性の向上において躯体と仕上が容易に分別可能となっている。(壁・天井:LGS+石膏ボード仕上)	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0033

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)高槻市天神町1丁目計画							
	建設地	大阪府高槻市天神町一丁目							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+					
①	CO2削減			3					
②	みどり・ヒート アイランド対策			2					
③	建物の断熱性			4					
④	エネルギー削減			5					
⑤	自然エネルギー直接利用			○					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	1.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入	太陽光発電設備	
特に配慮した事項	特になし	